

# 後期中間公共記述対策

Q1.議員内閣制での内閣の形成の利点と問題点を答えよ。

A1.国会で多数議席を持つ政党から内閣総理大臣が指名され内閣を組織するので国会と内閣との一体性が確保される利点がある。その一方で相互の抑制、特に国会の内閣に対するコントロールが失われる危険性があるという問題点がある。

## point

議院内閣制では国會議員から内閣総理大臣が任命される。よってある程度内閣の思うまま、立法府からの抑制が弱い政治体制になってしまうことがある。

Q2.天下りとはなにか答えよ。

A2.退職した公務員が関連の深い民間団体に再就職する慣行のこと。

## point

公務員、特に官僚はその省庁で特定の分野について知識を持つようになる。それを活かし民間団体に再就職することがあるが、天下り官僚が元いた省庁に働きかけるなど官民の癒着や税金の使い道に対する問題を抱えている

Q3.なぜ司法権の独立が求められているか答えよ。

A3.他の国家権力、国家機関から干渉を受けないようにするため。

**point**

国家機関が互いに抑制しあい、三権分立を保つために司法権は独立していかなければならない。

Q4.三位一体の改革の問題点を答えよ。

A4.国の財政改革のためでありますって地方財政は圧迫された点。

**point**

三位一体の改革では国から地方への助成の削減が図られたため地方財政は圧迫された。

Q5.選挙制度についてそれぞれ利点、欠点は把握しておこう

Q6.連座制とはなにか答えよ。

A6.公職選挙法で定められた連座対象者が選挙違反で有罪になった場合にその候補者が選挙違反を行っていなくても当選が無効になる制度

**point**

候補者の親族や秘書、また選挙運動全体を総括する人々は連座対象者となり、その人達の違反は候補者自身の当否にも影響を及ぼす

Q7.政党政治の形態についてそれぞれ利点、欠点は把握しておこう

Q8.一票の格差解消のために行うべきことを答えよ。

A8.議員定数の再分配や選挙区の区割り変更による定数是正。

### point

議員定数と有権者数の比率の不均衡が起き、一票の価値が地域によって大きく異なっていることが問題となっている。それを解消するためには有権者の多いところは定数を多くする必要がある。

~~おまけ~~

◎司法権の独立を巡る事件(簡潔に)

1.大津事件→行政権からの独立

ロシア皇太子を巡査が切りつけた事件。内閣は死刑を求めるが、裁判所が政府の圧力に屈せず通常の事件と同等に扱うよう裁判官を説得し司法権の独立を守った事件。

しかし、裁判官の独立は守られなかったという問題がある。

2.浦和事件→立法権からの独立

裁判所の判決に対し参議院が批判してきたが、最高裁は独立を侵害するとしてそれに対し激しく抗議した。

3.平賀書簡事件→司法権内部での独立

地裁の所長が担当裁判官に判決の内容に関する自己の見解を書簡で送ったことが判明した事件。